赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

28年10月1日から行ってきた赤い羽根共同募金運動は、皆さんの温かいご協力により目標の500万円を超える寄付が集まりました。ありがとうございました。

寄付金は愛媛県共同募金会でまとめた後、愛媛県内の障害福祉施設・児童福祉施設などの社会福祉施設、民間の小規模作業所、社会福祉団体などに配分されます。また、災害見舞金としても役立てられます。

内子町社会福祉協議会にも、次年度に一部配分され、共同募金配分委員会を通して自治会配分金事業や内子町社会福祉大会事業などに活用する予定です。

今後ともご協力よろしくお願いします。

●赤い羽根共同募金運動実績

項目	金額（円）	協力団体など
戸別募金	3,071,200	各自治会
街頭募金	36,950	ボーイスカウト
法人募金	1,504,610	地区社協分会
学校募金	43,995	生徒、児童、園児
職場募金	498,000	町職員、教職員、民生児童委員、社協職員他
その他	61,367	バッジ募金他
合計	5,216,122	

【問い合わせ】
内子町社会福祉協議会（内子分庁内）
☎０８９３（４４）３８２０
http://www.shakyo.or.jp/hp/1486/

盲導犬と一緒に学んだよ ――盲導犬キャラバンin立川・石畳――

（公財）日本盲導犬協会島根あさひ訓練センターの「盲導犬キャラバン」が1月18日に行われ、同センターの中村士（つかさ）さんと盲導犬のウィティが立川小学校と石畳小学校を訪れました。このキャラバンは内子町と大洲市の社会福祉協議会が、日本盲導犬協会の盲導犬キャラバン事業と連携し、福祉教育の一環として開いています。

まず中村さんが、視覚障害、盲導犬の一生や訓練の仕方、役割などについて説明。次に、白杖を使った歩行の仕方やウィティと一緒に盲導犬の仕事を実演しました。その後、児童はアイマスクをつけて、ウィティの先導で歩く歩行体験をしました。体験を終えた子どもたちは「ウィティが寄りそって歩いてくれたのでスムーズに歩けた」「見えないことは怖かったけれど、ウィティと一緒だと普段通り歩けるので驚いた」と感想を述べました。

最後に中村さんは、「困っている人を見かけたら声を掛けてあげて」「盲導犬は目の見えない人の大切なパートナー。盲導犬の優しさを知ってほしい」と子どもたちに投げかけていました。

1_お座りができたウィティを「グッド」とほめる中村さん
2_アイマスクを付けて、ウィティと一緒に歩行体験